

日本看護歴史学会

会報

日本看護歴史学会
第34号
2000年5月15日

看護史の教育研究環境の課題と改善を目指して

高橋 みや子

昨年、ボストン美術館でゴーギャンの「タヒチの女」(一八九七年)を鑑賞する機会がありました。

その絵の片隅に「われわれは何処どこから来たのか? われわれは何者なのか? われわれは何処へ行くのか?」と書かれており、深い感銘を受けました。

日本看護歴史学会の過去・現在・未来を考える際に大きな示唆を与える言葉だと思えます。

看護史は、現在の看護教育界、看護研究界においてまだ市民権を得ていないとは思えません。

そこで、本稿では看護史と看護教育の現状と課題、最後にそのような状況の改善に向かって学会はどのような役割を果たし得るのかを考えてみました。

まず、看護史と看護教育について

看護史は、看護学概論の中に含まれ、その比重のかけ方は学校の考え次第です。看護史の研究者が少ないこともあり教育内容や教育方法さらに授業展開の検討までは手が及ばず、お茶を濁している状況です。

今、大きな変革期にある看護界にとって、教育の場で看護と看護学の発達の経緯、将来方向等を展開し、その中で学生各個人が自身自身の歴史を見る目を養うことが重要な課題だと考えられます。

次に、看護史と看護研究について、看護史の研究者は徐々に増加してきましたが、看護学研究の他分野の人口に比して極めて少数派です。そのため、研究者を取り巻く

研究環境は極めて厳しいと言わざるを得ません。

まず、看護系大学院修士課程三十六校、博士課程十一校となった現在でも、看護史を研究課題として取り扱う大学は極めて稀です。

看護史の研究者が少ないことも相まって、看護史の研究方法に関する適切な教本がない現状です。看護史の研究領域は多岐に亘るので、今後研究方法毎に研究計画及び実践例も含めた教本作成が必要となつてきます。

さらに、看護史に関する基礎的史料類の整備があげられます。看護史の史料に関する所在目録や所属目録類はまだ整備されていません。看護史研究を目指しても、先ず研究方法、次に史料収集で困難を覚え放棄する例が多いようです。このように看護史を取り巻く研究環境の整備が大きな課題となつていきます。諸々の整備が推進されることによつて、研究者が増加し看護界において市民権を得ることができると考えられます。

このような今日、日本看護歴史学会としてどのような役割を果たすことができるのか、現実的に役立つ実施可能な課題を提案します。一つは日本国内及び海外の看護史の史料の所在目録や所蔵目録の

作成を行うことです。看護史の史料を所蔵している機関や機関の所蔵史料に関する調査は皆無でした。研究者は経験によつて探し当て利用している状況です。研究を推進するためには、誰でも利用可能な目録類を整備する必要があります。

二つは看護史に関する研究成果の情報を整理することです。看護史の研究成果は看護学は勿論、他領域の学術雑誌や学術誌以外の一般雑誌に掲載され散在しています。研究者が情報収集しやすい方法を早急に検討する必要があります。

一、二を実施するためには、それに要する経費を何らかの形で調達する必要があります。また、全国各地の人々や海外情報に詳しい人々の情報提供等、幅広い協力を仰ぐ必要があります。

三つは日本看護歴史学会の分科会の活性化を図ることです。大会時に積極的に企画し、会員や招聘講師を中心に研究者同士の情報交換、情報提供と指導、分科会をきっかけに共同研究を行う場として活用できるようにします。今後、看護史の教育研究が発展できるための一助となるように、実施可能な具体的課題に積極的に取り組んで行きたいものです。

日本看護歴史学会第十四回大会

つぎの要領で開催します。

大会テーマ

「二十一世紀への宿題〜歴史にみる看護の知慧」

近代の科学・物質文明の進歩に伴って看護もその理論・制度・管理・教育のあらゆる分野で、めざましい発展を続けてきました。前年度大会テーマ「世紀を越えて、看護の未来」を踏まえて、今年「温故知新」の歴史の視点から発展の中に積み残してはならないものは何か、二十一世紀に何を繋いでいくべきかを考える機会にしましょう。

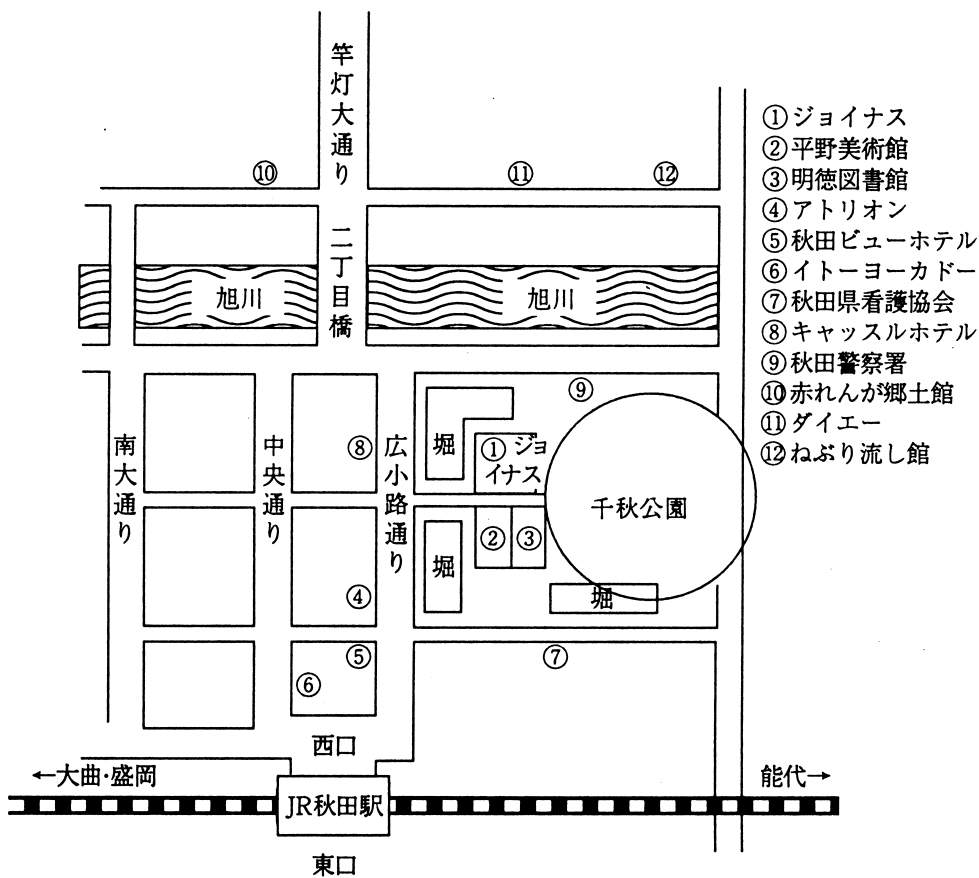
日時 八月二十三日(水) 十時〜十七時
二十四日(木) 十時〜十二時

会場 秋田県生涯学習センター分館「ジョイナス」
秋田市千秋明徳町二一五二

JR秋田駅より徒歩七分、旧久保田城跡千秋公園の入口にあり、お堀には大賀蓮の花が美しい所です。
会館周辺には美術館・図書館・博物館などがあります。

プログラム

- 一 会長講演 大会長 山本 捷子氏
「歴史に学ぶ看護の智慧・わざ・こころ」
- 二 特別講演 秋田大学教育文化学部教授 對馬 達雄氏
「反ナチ抵抗運動と教育の改造」



千秋公園内には御隅櫓と佐竹資料館があり、散策と歴史探訪が楽しめます。

三 研究発表

① 広島における米国篤志看護婦マギー一行の活動

田村 典子・古屋敷明美・高田 節子
(広島県立保健福祉短期大学)

② 占領期における保健婦助産婦看護婦法改正その2
↳法律第258号の成立過程

田中 幸子(北里大学看護学部)

③ 戦後北海道における看護基礎教育の歴史的發展

一九四五〜一九九八社会・文化的要因の分析を中心に
山田 玲子(北海道教育大学札幌校)

④ 卒後教育の変遷と課題

玄田 公子(神戸市看護大学)
高橋みや子(山形大学)

四 分科会

*「この指とまれ方式」で、研究分野別にプレゼンテーションとグループディスカッションをします。

*プレゼンターの研究途中のもの、発表していない内容、研究の進め方の課題などの情報交換をします。

*参加者は関心ある分科会に自由に参加し、研究の手がかりを得ることが出来ます。

1 アメリカ看護史学会の動き

2 グループディスカッション

① 文学にみる看護史

② GHQと日本の看護

③ 日赤看護史

④ 個人史

⑤ 地方における看護史

⑥ 外国史

⑦ 教育史

⑧ その他

*プレゼンターを募集します。プレゼンテーションしたい分野があれば分科会を設けますので、お申し出ください。

五 ポスターセッション・史料展示

① 近代看護婦発祥一〇〇年記念写真パネル

② 看護婦・医療関係の郵便切手、看護用具、教科書・雑誌など

③ 会員の著作・出版物

*お手持ちの古い資料や看護用具などがありましたら、ご提供ください。

懇親会

第一日目終了後夕食会を兼ねて会場近くのホテルで行います。

大会参加費 四千元

懇親会参加費 四千元

当日の申し込みも受付けますが、できるだけ事前に同封の郵便振込用紙でお振込みいただくようお願いいたします。

*年会費の送付先と異なりますので御注意ください。

幹事会

八月二十二日(火) 十八時より

「秋田温泉プラザ」において行います。

十四回大会 開催事務局

日本赤十字秋田短期大学 山本研究室

〒〇一〇一四〇六

秋田市上北手猿田字苗代沢一七ー三

電話 〇一八ー八二九ー三〇六四

ファックス 〇一八ー八二九ー三〇三〇

e-mail yamamoto@venus.rcakita-jc.ac.jp

郵便振込口座

口座名 山本捷子
番号 02540-1-4874

新入会員紹介

※()内は会員番号

- ・草加二三子(98-0018)
- ・美ノ谷新子(98-0019)
- 〔東邦大学医療技術短期大学〕
- ・飯田三貴子(98-0020)
- 〔京都府立医科大学医療技術短大〕
- ・吉川千恵子(98-0023)
- ・西片久美子(98-0024)
- ・日下 修一(99-0001)
- 〔東京大学大学院医学系研究科〕
- ・小川 典子(99-0002)
- ・佐藤 典子(99-0003)
- ・濱野 香苗(99-0004)
- 〔佐賀医科大学医学部看護学科〕
- ・上坂 良子(99-0005)
- 〔和歌山県立医科大学看護短期大学部〕
- ・野澤 由美(99-0006)
- 〔山梨県立看護大学短期大学部〕
- ・大嶺千枝子(99-0007)
- ・神居 文彰(99-0008)
- 〔仏教大学〕
- ・松村 幸子(99-0009)
- 〔浜松医科大学医学部看護学科〕
- ・長谷川愛子(99-0010)
- 〔浜松医科大学附属病院看護部〕
- ・小笠原常子(99-0011)
- 〔藤華医療介護専門学校〕
- ・片桐 智子(99-0012)
- 〔山形県立保健医療短期大学〕

- ・見戸 明子(99-0013)
- 〔医療法人錦秀会看護学院〕
- ・時館千鶴子(99-0014)
- 〔岩手女子看護短期大学専攻科〕
- ・細越 幸子(00-0001)
- 〔岩手県立大学看護学部〕
- ・古屋敷明美(00-0002)
- 〔広島県立保健福祉短期大学〕
- ・藤波 豊子(00-0003)
- ・山田ノリ子(00-0004)
- 〔帝京平成短期大学看護学科〕
- ・山田 玲子(00-0005)
- 〔北海道教育大学〕

事務局からのお知らせ

◆住所変更の場合、ファックスでも結構ですので、必ず事務局へご連絡ください。

◆会費納入のお願い

本年度の会費(四〇〇〇円)をまだ未納の方は納入お願いします。未納額の確認をされたい方は、会計の大平政子氏(〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町川澄一番地 名古屋市立大学看護学部)へお問い合わせ下さい。

なお、会則第六条の規定により、年会費を三年以上滞納した方は、会員の資格を失うこととなりますので、留意下さい。

◆本会の出版物をお求めの方は、事務局へご連絡下さい。

- ・『日本看護歴史学会会報』創刊号より第二九号まで可領価 一部 二〇〇円
- ・『日本看護歴史学会誌』第二号より第一一号まで可領価 一部 五〇〇円
- ・『近代看護婦発祥一〇〇年記念』看護婦一〇〇年の歩み」送料 一部 二四〇円
- ・『看護婦一〇〇年の歩み』送料 一部 五〇〇円
- ・『看護婦一〇〇年の歩み』送料 一部 二四〇円

※お求めになった出版物に振込用紙を同封しますので、送金下さい。また、直接左記の郵便振替口座に送料込みの価格(ご希望の出版物を必ず明記)をお振り込みいただいても結構です。

郵便振替口座番号
〇一〇一〇一〇一五二一八五
日本看護歴史学会

◆本会のテレフォンカードをお求めの方も事務局へご連絡下さい。看護婦・助産婦・保健婦の三種類あります。各種一枚八〇〇円です。

編集後記

五月の声を聞いてからの発行となりました。「どうなっているの」のお問い合わせもあり、大変申し訳なく思っております。今大会は、装いも新しく、秋田の地で開催されます。中でも、分科会の復活、「この指とまれ方式」では、皆様の熱いディスカッションがとびかい、実りの多いものになるのではと期待しています。(お)

日本看護歴史学会会報第三四号 発行責任者 山本捷子 日本赤十字秋田短期大学 編集責任者 福本 恵・岡山寧子 京都府立医科大学 医療技術短期大学部	事務局 〒602-0857 京都市上京区 清和院口寺町東入 中御霊町四一〇 京都府立医科大学 医療技術短期大学部 岡山寧子・福本 恵 〒〇七五-1121-5442 〒〇七五-1121-5442 〒〇七五-1121-5442 Email:okayamay@cmk.kpu-n.ac.jp
---	--